

プレゼン：3月10日 B会場 15:00～ IoTによる生産の見える化と連携

中小企業の水平連携を「見える化」して工程進捗情報を共有する仕組みを実現

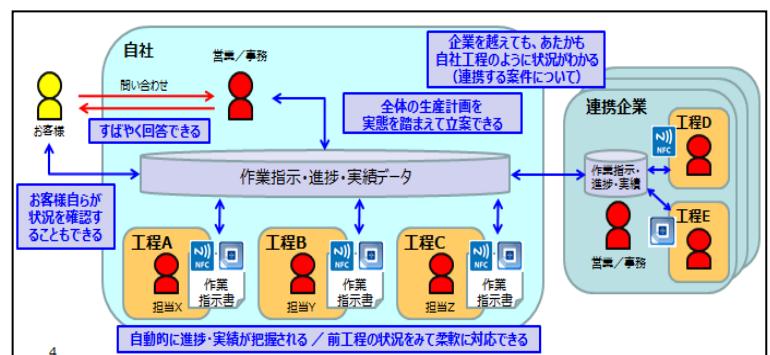
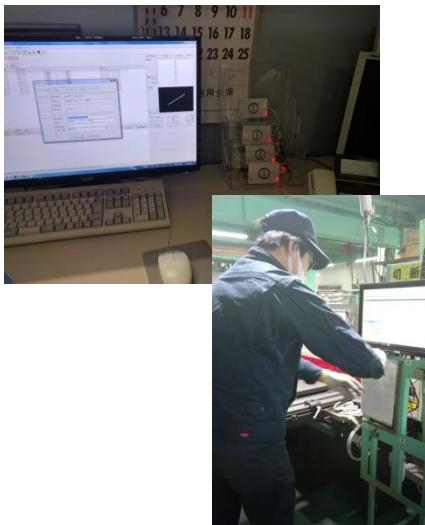
## 対象業務の現状と取組み

**現状：** 中小企業では人手に依存した管理が多く、特に生産工程の進捗管理の把握は生産現場の作業負荷になるため十分に行われていません。顧客から問い合わせが来る度に事務担当が製造担当者を探して聞きまわり、顧客回答にも時間が掛かります。企業の壁を超えると更にその事態は悪くなります。

**取組み：** IoT (RFID)活用で自動的に各社・各工程・他社発注などの進捗状況が把握・管理できるようにします。その結果、顧客からの問い合わせへのタイムリーな対応、自社での次工程の事前準備が可能となり、全員が進捗を意識した活動が可能となります。

## 実証実験・業務シナリオ (TO-BE)・成果

進捗の着手・完了情報をIoT (RFID) を活用し自動取得、進捗状況をそれぞれの企業で認識できるようにしました。プラットフォームで進捗情報を共有する実証実験を行い、作業の工程進捗を3社で確認できました。



**ファシリテータ**：石岡 和紘 (エー・アイ・エス)

宮本 卓(西川精機)

**エディタ**：古澤 紘司(アプストウェブ)

**メンバ**：白須 一博・今川 祥太郎 (今野製作所)

西川 喜久 (西川精機)、森下 篤史 (栗田産業)

高鹿 初子 (富士通)、河出 孝司 (ITC)

